

地震のときは どうしたらいいの？



まー君は市内の住宅街に3人で住んでいます。
ある夕方、ママは夕食の支度、
まー君は居間でテレビゲームをしているとき、
急に大きな地震が起きました。

地震発生

発生時の行動

- ①机の下などで、身の安全を確保
- ②火を消す
- ③ドアや窓を開け、逃げ道を確保
- ④ガスの元栓を締め、
電気のブレーカーを切る
- ⑤避難場所へ移動

全市被害最大モデル～直下型地震(最大震度6強)

建物被害	50,310棟(全壊7,120棟、半壊43,190棟)
火災被害	出火130件、焼失棟数4,000棟
人的被害	死者240人、負傷者12,990人 り災者127,100人、53,700世帯

ニュース速報
「石狩中部を震源とした
直下型地震が発生。
札幌は震度6強を観測しました」



地域で防災活動

阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋の下敷きになった人たちの約8割を地域住民が救出しました。このように、地震など大規模災害の発生時、地域の住民が協力することで被害を最小限にできるのです。



▶ 広報番組で紹介!

9月10日(土) 午前11時

HTB 愛・らぶサッポロ

高齢者の見回りや防災マップの作成などを地域で行っている厚別区青葉町紅葉会の防災訓練に上田市長が参加。市民防災センターの紹介もあります。



避難場所

家族で避難場所を確認しておこう

収容避難場所

大規模な災害発生時に避難生活が可能な小中学校、地区会館など市内613施設を指定。最大22万人分を確保しています。災害が発生した際には、食料、生活必需品などの提供、仮設トイレの設置など、生活環境を早急に整備します。



収容、一時避難場所 広域避難場所

このほか、地域の公園など身の安全を確保する「一時避難場所」、大規模な公園など炎や煙から身を守る「広域避難場所」があります。

自宅周辺の避難場所は、危機管理対策室ホームページと市コールセンター ☎222-4894でお知らせしています

避難



電話が繋がらない時は **NTT災害用伝言ダイヤル**

地震などの災害が起きると、安否の確認やお見舞いなどの電話が殺到し、電話が繋がりにくくなることがあります。その際は、**171**番に電話し、自宅の電話番号を入力することで、伝言を録音・再生できます。なお、通話料がかかります。



※携帯電話で文字による伝言を確認できる「災害用伝言板」もあります